

CU 三多摩 ニュース

No125 2026 年 2 月 1 日

コミュニティユニオン東京三多摩地域本部

〒185-0034 国分寺市光町 1-40-12 北多摩西教育会館内

☎・FAX 042-571-1166/090-2247-1166

Email:cu3tama@abeam.ocn.ne.jp

HP <https://cu3tama.org>

働く者の暮らしをまもり

2/8

権利を守るために選挙に行こう !

仲間の皆さん

高市首相が国会を解散し、時ならぬ総選挙が 2 月 8 日投票で行われます。

国民の暮らしは置き去りに、アメリカのベネズエラ攻撃にも何も言わず、統一教会の支援を自民党の国会議員が 200 人以上も受けていたことが統一教会の文書で暴露され、裏金議員も公認、金権パーティ再開。こうした国会で追及されそうな問題を回避する私利私欲の解散です。

その上、「私が総理でいいかどうかを問う」「公明党との連立を解消したことを問う」と言いますが、そもそも日本の首相は議員内閣制であり、国会で多数を占めた政党の中から首相が指名されるのであって、個人の人気投票ではありません。そして、公明党等の協力解消も、政権維持のための枠組みを政党間できめたのであって、今、この時に選挙をする理由にはなりません。

仲間の皆さん

政府は 労働者の切実な願い『賃金を上げてほしい』も置き去りにしています、前石破総理は 2020 年代には時給を 1500 円にすると約束しました。それも、高市総理は不問に付すつもりです。

さらに、財界の要求に従って、労働時間の規制も緩和しようとしています。労働時間を減らし、労働者が自分の自由な時間を持てるようにしようという私たちの願いが踏みにじられようとし

ています。政界再編で中道なるものが生まれました。安政法制賛成で平和は守れません。

選挙に行きましょう !

仲間の皆さん

政治を変えましょう。そのために選挙に行きましょう。国民の、労働者の暮らしを守るのは誰か、しっかりと見極めて、投票に行きましょう。今の、労働者の苦しみを解決できる政治に、変えましょう。

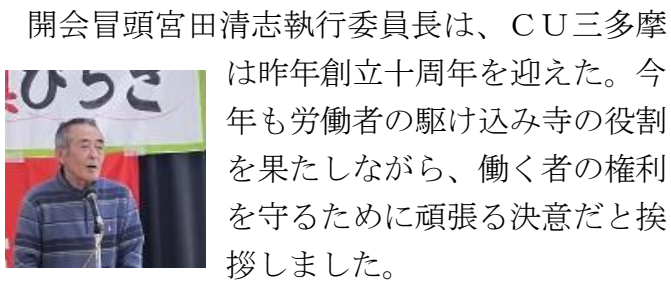
CU三多摩 2026 年旗びらき開催



1 月 11 日、北多摩西教育会館において、CU 三多摩地本の「旗びらき」が行われました。

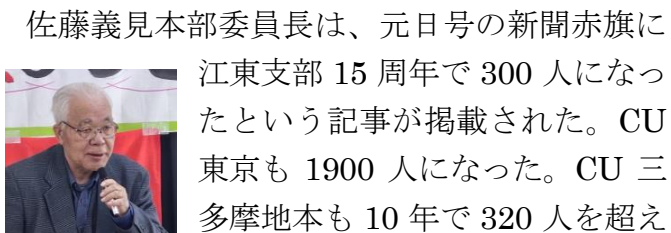
CU 東京本部の佐藤委員長はじめ、八王子法律事務所や東京土建本部や多摩地域の各支部や埼玉ユニオンなど、多くの来賓の皆さんと執行委

員、争議中の組合員が参加しました。



開会冒頭宮田清志執行委員長は、CU三多摩は昨年創立十周年を迎えた。今年も労働者の駆け込み寺の役割を果たしながら、働く者の権利を守るために頑張る決意だと挨拶しました。

各界からの来賓あいさつ



佐藤義見本部委員長は、元日号の新聞赤旗に江東支部 15 周年で 300 人になったという記事が掲載された。CU 東京も 1900 人になった。CU 三多摩地本も 10 年で 320 人を超えた。さらに 2000 人、3000 人の組合を目指す。

労働者に寄り添い、結果も出して、労働者の権利を守る組合として、今年も頑張らしましょう。

三多摩労連菅原副議長 基地問題や多摩格差の解消など、三多摩労連の果たす役割は必要だと思っている。共に頑張りたい。

東京土建砂川常任中央執行委員 建設労働者の賃金運動が大きくなっている。公契約条例はトレンド。高揚感を持って受け止められている。担い手三法の成立やアスベストも大手メーカーとの訴訟が和解。9000 人が補償金を受け取った。しかし、今でも現場でアスベスト被害を受けている仲間がいる。日本は労働者の安全にお金をつけない国だと思う。協力して取り組みたい。

埼玉ユニオン岩月委員長・中山副委員長 全国でユニオンが頑張っている。事件を解決すると辞めていく悩みは皆同じ。相談もかなり増えてきた。外国人、風俗で働く人、日雇いバイトの人の相談も増えている。横のつながりを強めながら取り組みたい。

宮本徹前衆議院議員 突然のこんな時期の解散に自治体も迷惑。なぜ今か、日中問題、アメリカのベネズエラへの攻撃、統一教会余の癒着、維新

の国保税逃れなど国会展開で困っているから。

労働問題で言えば、石破首相が約束した 2020 年代に時給 1500 円を不問にしている。高市首相の責任ある積極財政の正体は軍事費増と財界向け予算。

労働者や国民の暮らしは置き去りにしている。積極財政の本質をあばいて闘いたい。議員バッジがなくても頑張ってきたが、あった方がより役に立てる。共に頑張ります。

この他、東京土建多摩西部支部清水委員長、八王子支部久保書記長、日野支部の方々からも激励の言葉をいただきました。

そして、争議が解決した組合員の N さんは、会社を首になりそうだった。CU に相談して昨年 12 月に解決し、感謝している。

さらに、M さんは、ある地域の事業所が閉鎖となり、一年前から不当な退職勧奨を受けてきた。拒否したら解雇を通告された。CU と共に団体交渉をしている。まじめに働いていれば報われると思っていた。最後まで頑張ると発言、参加者から励ましの拍手をもらいました。



また、旗びらきには前進座の俳優も参加し、華やかさを添えていただきました。

また前進座の俳優山本はるみさんがハイヤ節を踊りと、三多摩労連の菅原さんのギターで労働化やフォークソングを歌いました。

昨年暮れに CU 労働相談会開催

相談者 3 人、カンパも

CU 三多摩地域本部で初の年末相談会を 12 月 20 日(土)13 時から行いました。

この取り組みにむけて、赤旗新聞折り込み 2000 部。事前宣伝行動として国立駅南



口において7人が参加し、案内チラシを配布しました。

当日は事前に約束された相談者に加え、「新聞折込みを見た」という相談者、「頑張っているので応援したい」とカンパ 5,000 円を届けて下さった方など、さまざまな反応がありました。

事務所に直接相談に来られた女性(40 代)は「派遣先の職場で女性の上司からのいじめ、いやがらせをうけている。母が 2025 年に亡くなり、精神的にもつらかったため上司の態度に泣いてしまった。でも皆さんに相談して良かった」と、これからも相談したいと話し、帰りました。

相談会では 1 人が新加入し、継続した取り組みの必要性を感じたところです。

CU 三多摩・多摩稲城分会 働くルールの基本で学習会

多摩稲城分会 尼崎 学



2025 年 12 月 27 日、CU 三多摩・多摩稲城分会は「年の終わりの学習会」を行いました。参加者は、11 人と少なかったですが、組合員以外の方も 3 人参加してくれました。講師は三宅克朋弁護士（八王子合同法律事務所）。

テーマは「働くルールの基本」。講師の三宅克朋弁護士は、自分が弁護士になったきっかけとしての労働組合活動と労働問題の弁護活動について、労働法の概要の話をしました。そして、残業問題と解雇問題にしばって、具体的な判例や三宅弁護士が関わっている訴訟のことなどを分かり易く解説しました。

詳しいレジメは、これからの活動や学習にも参考になります。政府・財界が目論んでいる労働法の破壊、規制緩和についても、労働者は団結して政治を変えなければならないと訴えました。

参加者からは、このような学習会を定期的に開いてほしいと話す方もいて、参加者の受け止め方も良かったと思います。このような学習会

と労働相談が定着すれば、組合への注目度もあがると思います。

労働相談より

パワハラで退職に追い込まれるも 社長は認めず しかし退職保障させた

K さんは 2005 年入社、2022 年にガンで休職・治療後に復職しましたが、上司の N 氏から継続的な嫌がらせとパワハラを受けました。具体的には、「仕事しなくていい」という退職を促す発言、私生活への過度な干渉、厄介な仕事の押し付け、仲間外れ（説明会や昼食会から除外）、「お金持ちの象徴」などの嫌味な発言がありました。

たまたま 2024 年 11 月頃に総務担当に相談しましたが、真摯な聴き取りや上司の行為の有無の確認など、事業所としてとるべき対応はとられませんでした。2025 年 2 月頃から不眠が始まり、4 月には仕事に涙が出るほど追い込まれました。そんな中、他の二人の業務を上司から押し付けられたことを契機に症状が悪化。その後クリニックでうつ病と診断され、休職指示を受けました。精神的に限界となり 8 月 18 日付で退職しましたが、加害者である上司に咎めがないことに納得できず、東京土建日野支部を通じて組合に相談しました。

事情を聴き取る中で、K さんは 2023 年 4 月から手根管症候群や腱鞘炎、バネ指で手術を受けましたが、術後の配慮もなく、仕事量は変わらなかったことが分かりました。労災申請について相談したが、会社から「認められない」と拒絶されました。

K さんと組合は、2 回の団体交渉において、できる限り具体的な事実を基に退職を余儀なくされた経緯を主張しました。会社と会社側弁護士は当初全面的に否定しましたが、金銭解決に応じ、提示金額も増額され和解しました。

なお、労災については、請求時効が過ぎており、争うまでもないと判断し、再発防止を求めるにとどめました。

K 氏は長く、つらい思いを抱えていましたが、

労働組合に思い至らず、退職後の相談でした。夫が東京土建の組合員で書記さんに相談してCUとつながったものです。CUがもっと身近に知られる存在とならなければと考えさせられるケースでした。

組合員からの投稿 2025 年 日本のうたごえ祭典に参加して

中山倫子



25 年 11 月 22 日から 24 日まで 3 日間、兵庫県神戸市で日本の歌声祭典が開かれ、コーラスの仲間と参加しました。

全国の予選を勝ち抜いたサークルや合唱団の発表と特別音楽会で構成されました。

開催地神戸にちなんで「阪神淡路大震災 30 年、非核神戸方式 50 年、被爆・戦後 80 年」がテーマでした。

合唱発表会では地方の合唱団が若い団員を増やし、元気にがんばっていました。特別音楽会では被爆 80 周年を記念し『朝の空気を吸い込んで』が演奏されました。8 月 6 日の晴れ渡った空の朝、原爆投下のスイッチが押されたことなどを謳う、4 曲からなる組曲です。

また三池炭鉱労働者の作曲家として知られる荒木栄の曲を 3 曲が現代の作曲家の編曲で演奏

されました。

メインの大音楽会は『阪神大震災鎮魂組曲 1995 年 1 月 17 日』の演奏。竹下景子さんによる詩の朗読。阪神淡路大震災や東北大震災を謳った福島県南相馬郡小高中学高の小田美樹さんが作った『群青』も演奏されました。その他「大地賛頌」の演奏など、今年のうたごえ祭典は全体を通して平和への思いを後世に伝えていきたいという参加者の熱気にあふれていました。

労働問題学習会のお知らせ

『労働組合とは何か』

団結して闘ってこそ改善する

日時 3月8日(日)午後3時～
場所 北多摩西教育会館
CU三多摩の事務所3階
国立駅北口から5分
参加費 無料

一学習会の前に一 第4回執行委員会

3月8日(日)午後1時30分
会場は上の学習会と同じ

学習会は組合員でなくても、参加できます。

執行委員の皆さん、組合員の皆さん、友人や同僚を誘って参加してください。

学んで、組合を大きくしましょう。

**CU東京三多摩地域本部は
アメリカの無法なベネズエラ
攻撃に強く抗議します**